公園・発見・ほっとけん

千葉県

小学校低学年 | 小学校中学年 | 小学校高学年 | 中学校

ＥＳＤの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

- 多様性
- 相互性
- 有限性
- 公平性
- 連携性
- 責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

- 【批判】批判的に考える力
- 【未来】未来像を予測して計画を立てる力
- 【多面】多面的、総合的に考える力
- 【伝達】コミュニケーションを行う力
- 【協力】他者と協力する態度
- 【関連】つながりを尊重する態度
- 【参加】進んで参加する態度

プログラム目標

①まず、地域の公園の利用調査や管理の背景を知ることを通して、公園の役割や課題を知り、その解決方法を考えます。またその活動を通して、社会参画への意欲を高めます。②地域の特色に合った理想の公園を考え、自分たちにできる行動を起こすことで、地域社会に参画し地域の発展に努力しようとする態度を養います。③世代間の公平を考えるきっかけとするため、異なる世代の考え方に触れます。④情報機器の扱い方、情報発信活動を通じてメディアリテラシーを養います

プログラム概要

生徒たちの生活に身近な存在である公園ですが、世代や性別に応じて多様な利用目的があります。このプログラムでは地域の公園がどのように利用され、維持管理されているのか、ＮＰＯの話を聞いて知り、実際の現場を観察することで、現在抱えている公園の課題点や、問題点を考察します。観察では、グループごとにｉＰａｄを使って写真を撮り、教室に持ち帰って撮影した写真を議論しながら選び、コメントをつけます。生徒たちのアイディアをＦａｃｅｂｏｏｋを通じてインターネット上に公開し、地域の大人がそれを受けて評価し、実践することで、よりよい地域づくりにつなげます。

学習指導要領との関連

学年｜教科	中学校３年	公民	中学校３年	公民
学習内容	＜私たちと経済・国民の生活と政府の役割＞ 国民の生活と福祉の向上を図るために，社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，社会保障の充実，消費者の保護など，市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また，財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際，租税の意義と役割について考えさせるとともに，国民の納税の義務について理解させる。		＜私たちと政治・民主政治と政治参加＞ 地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際，地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに，住民の権利や義務に関連させて，地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てる。（中略）さらに，国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに，民主政治の推進と，公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際，選挙の意義について考えさせる。		

時	単元名（題材名）	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
（1時間） 導入① 公園にはどんなものがあるのだろう。		・公園に存在するものは何か、自由に意見を出し合い、教室全体で共有する。	・出た答えは極力否定しない。 ・物理的なものにとどまらない回答可。 〔模造紙・黒板〕
（2時間） 導入② 地域と世代について考えてみよう。		・公園を利用する人はどんな人がいるのか、利用者の世代・性別などを調べてみる。	・世代の違いで意見が変化する社会調査を例に、世代間で意見の差や考え方の違いがあることを気づかせる。 （例）ー「環境」か利便性か？ ー人間関係は浅いか深いか？ ーお金や愛を信じるか？ ・地域の住民の年齢分布を紹介して、どういう人がこの町にいるのかを理解する。 〔ＰＣ・プロジェクタ〕
（3時間） 公園は誰が管理しているのか？		・地域の公園を維持・管理している人を知り、どんな考えで維持・管理しているのかを知る。	・質問を受け付ける。できるだけ双方向に展開するよう配慮する。 〔ＰＣ・プロジェクタ〕

時	単元名 （題材名）	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
（4・5時間） 公園を観察しよう		・タブレットＰＣを持参して、「公園の魅力」「公園の改善点」の２つを現地にいって発見して、写真に収めてくる。	・写真はできるだけたくさん撮影するよう助言する。 ・後で「公園の魅力」「公園の改善点」を選定して発表するため、撮影した写真はその場では消去しないよう指示する。 〔タブレット型ＰＣ〕
（6時間） 公園の「魅力」「改善点」を発表		・各グループで撮影した写真から、「公園の魅力」「公園の改善点」を表した写真を１枚ずつ選定して、なぜその写真を選んだのかを発表する。 ・選定した写真をＳＮＳで公開して、学校外の関係者から評価をもらう	・写真はプロジェクタに接続して映写する。 ・なぜその写真を選んだのか、質問して根拠を深く掘り下げる。 ・同じ題材を撮影しても良い評価と悪い評価に分かれる場合があることに気づく。 〔タブレット型ＰＣ〕
（7時間） 公園の魅力と改善点を考えてみよう		・「みんなが納得して使うことができる公園にするために、何をすればいいだろうか？」を題材に公園の魅力と改善点についてグループで意見を出し合い、より良い公園にするにはどうしたら良いかを考える。	・出た意見は否定せず、どんどん意見を出し合うように促す。 〔模造紙〕

時	単元名（題材名）	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕
（8時間） 調査や話し合いで分かったことを発表しよう		・グループ毎に発表し、さらにクラスでまとめる。 ・理想の公園を作るために自分たちが出来る行動について話し合い計画を立てる。	・出された意見に対して、地域の住民（ゲスト）がコメントをする。 〔模造紙〕
（9・10時間） 考えた理想の公園像を管理者に届けよう。		・クラスでまとめた公園の改善プランをどうやって実現するかをとめる。 ・理想の公園像を公園管理者にプレゼンする(届ける)	・行動計画(自分たちにできること)を実践する場合の支援を行う。（管理者許可等） 〔模造紙〕

プログラム地域化メンバー、実証協力校等

地域プログラム化メンバー：ELCoの会／環境パートナーシップちば、千葉県環境生活部環境政策温暖化対策推進班、千葉県教育庁教育振興部指導課、千葉県環境研究センター、認定NPO法人ESD-J
協力実証校等：千葉市立打瀬中学校